

## 「教育と公共」研究部会（第34回）

日時：2022年3月11日（金）13:00～15:30

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：田嶋一・上野正道・浅井幸子・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員  
吉久知延所長・山口和人・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：（1）上野研究員：「デューイの民主主義と教育の哲学」 デューイ中期の思想を紹介

1. 民主主義の政治と教育
  - ・ソーシャルワークの活動と女性の権利保障
  - ・職業教育論争と教師の専門職化
  - ・マイノリティの政治参加と文化的多元主義——オーケストラとしての社会
  - ・第一次世界大戦とデューイ——平和と教育
2. 生き方としての民主主義——『民主主義と教育』の思想
  - ・教育目的としての成長
  - ・民主的な社会の自由と平等——ともに生きるということ
3. アクティブな学びとしての経験——思考、探求、リフレクション
  - ・経験の再構成——「1オンスの経験は1トンの理論にまさる」
  - ・思考、探求、リフレクション
  - ・教育課程における科学
  - ・教育の職業的側面と道徳の理論

（2）狩野研究員：「島小公開研究会——全8回のプログラム総覧」

1955年から1962年にわたり行われた島小公開研究会全8回のプログラムを紹介した

- ◆各会は主に公開授業、研究発表・討議、合唱、劇、フォークダンス、座談会などで構成
- ◆第1回から第7回までは2日間の日程、第8回のみ1日。初日の公開研後は夜のプログラム
- ◆保護者や地域住民参加のプログラムがあり、初期の島小実践が地域づくりを重視した現れ
- ◆合唱は職員が心をひらいて実践に取り組むために必要と考えられた
- ◆子どもによる表現活動が盛んに取り組まれる
- ◆斎藤喜博は職員に対して創作活動に取り組むよう奨励。作曲、詩、短歌、戯曲、ダンスなど職員の内心を拓くことが目的であったと思われる

・次回研究会 4月15日（金）13:00～